

安心・安全な介護技術

～車いす介助・手引き介助～



在宅の高齢者、障がい者の自宅を訪問し、介護サービスや生活援助サービスを提供するホームヘルパーから、日常の安心・安全な介護やそして防災にもつながる内容をお届けします。

テーマの中から関心のあるものをお選びください（複数でも構いません）

テーマ「車いす介助」 「視覚障がい者の手引き介助」
「災害時に役立つ介護のミニ知識」 「ホームヘルパーの仕事」

時間	30分～60分程度
準備物など	車いす、アイマスクなど（当方で持ちこみます）

内容は？

「車いす介助」…車いすの使用方法・操作説明をお伝えした後、体験を行います。

「視覚障がい者の手引き介助」…アイマスク体験を通じて、目が見えないとはどういうことかを体験し、視覚障がい者について理解を深めます。

「災害時に役立つ介護のミニ知識」…自然災害時に、車いす使用者、視覚障がいを持たれた方等の避難を支援する際の注意点を伝えした後、体験を行います。

「ホームヘルパーの仕事」…地域で生活支援のサービスが広がりつつあります。ヘルパーのできること、できないことって何だろう？そんな疑問にお答えします。

ここがポイント



- ・緊急時に役立つ介護方法がいろいろとわかり、興味深く楽しく実習できました。
- ・店のスタッフ1人ひとりが介護の経験をすることで、障がいを持つ方の気持ちを少しでも理解し、来店しやすい店になればと思います（市内飲食店より）。

参加者の声

車いすや視覚障がい者の手引きを学ばれ、「何か手伝えることはありませんか」と皆さんから声をかけることができ、また、緊急時の誘導準備ができていたことは、安心・防災のまちづくりにつながると考えています。